

带状疱疹予防接種のお知らせ

带状疱疹(たいじょうほうしん)予防接種(B類疾病)は定期接種となりました。
吉見町では、定期接種対象者以外の方も任意接種助成を行っております。



	定期接種	任意接種
対象の方	(1) 令和8年度中に 65・70・75・80・85・90・95・100歳 になる方及び (2) 60歳以上 65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方	令和8年度中に 50歳以上となる方 ※定期接種の対象の方を除きます ※令和8年度中に50歳の誕生日を迎える方は、誕生日前日から接種が可能です
期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日 ※令和11年度まで対象年齢の方を対象に実施	令和8年4月1日～令和9年3月31日 ※令和8年度も継続実施
種類	利用者負担額(定期・任意接種ともに)	
	・生ワクチン(ビケン) 5,000円 × 1回接種 ・組換えワクチン(シングリックス) 18,000円 × 2回接種 ※組換えワクチンは1回の接種につき、18,000円の自己負担がかかります。 そのため、2回接種すると合計36,000円の自己負担となります。	

定期接種の受診の流れ

- 医療機関へ予約
裏面の医療機関をご確認ください。
- 郵送済みの予防接種予診票に記入
- 利用者負担額を医療機関で支払ってください。

●申請方法

(町外医療機関で任意接種を受けた場合)
下記の必要書類を吉見町保健センターに提出してください。

必要書類

- 申請書
- 接種がわかる領収書
- 通帳等
- 本人確認書類

任意接種の受診の流れ

- 医療機関へ予約
- 医療機関に置いてある予防接種予診票に記入
- 町内医療機関
(白井医院、たばた小児科、森田クリニック)
定期接種と同様に、利用者負担額を医療機関で支払ってください。

町外医療機関の場合

接種費用を医療機関に全額支払った後、吉見町保健センターに申請することで、後日、利用者負担額を超えた金額[※]が町から助成されます。
※助成には限度額があります。

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です



- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹ワクチンの種類



- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)	組換えワクチン(シングリックス)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

带状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)	組換えワクチン(シングリックス)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

注：带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

ワクチンの安全性



- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)	組換えワクチン(シングリックス)
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛

※ワクチンを接種した部位の症状。各社の添付文書より厚生労働省にて作成。

他のワクチンとの同時接種について

- 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。